

研究開発プラン 2015-2020

組織としての戦略



UNIVERSITÉ
LAVAL

目次

VICE-RECTORAT À LA RECHERCHE ET À LA CRÉATION

Pavillon des Sciences de l'éducation
2320, rue des Bibliothèques, bureau 1434
Université Laval
Québec (Québec) G1V 0A6

電話番号 : 418-656-2599
FAX : 418-656-2401
eメール lvrr@vrr.ulaval.ca
ulaval.ca/recherche-creation

背景

ここ数十年の間、私達の研究環境は目覚しく変化を遂げてきました。複雑な科学的挑戦と社会・経済問題による圧力により、国境を越えた解決方法が求められています。また、あらゆる分野の専門知識を備えた人材を蓄え、共有することが必要とされています。社会の将来はこれまで以上に、研究開発に関わるすべての関係者の創造力とその能力に委ねられています。

「研究開発プラン2015-2020」（以下「プラン」と略）は、共同研究、政府や民間企業とのパートナーシップ、国際化に基礎を置いた新アプローチのニーズに対応しています。成長分野を強化していく一方で、当機関の人材を活用しながら、新分野を開拓しパートナーシップを育成する機会を即座に効率的に捉え対応していくことは、今後の重要な課題です。

本プランは、研究助成費を2千万ドル以上増加し、博士課程の学生を10%増員した先のプランを踏襲しています。パートナーシップ・チェア（パートナーシップ助成金）については、前プランの期間中35%増加したことが報告されています。

プラン2015-2020は、特に過去5年間に開発された当大学の主要な施設を土台にしています。これには、畜産学部統合生理学研究室 (Laboratoire de physiologie intégrative en sciences animales)、公共インフラの持続可能な開発研究室 (Laboratoire de sustainable development des infrastructures publiques)、ヒト・微生物ゲノム解析のプラットフォーム (a Plateforme de génomique intégrative humaine et microbienne)、研究開発デジタルオーディオラボ (Laboratoire audionumérique de recherche et de création) が挙げられます。

また、アリアンス・サンテ・ケベック (Alliance santé Québec) やケベック北部研究所 (l'Institut nordique du Québec) などの最近の大規模なプロジェクトについても考慮しています。要するに、本プランは、前プランと同じく仏語圏および環境維持開発のリーダーとしてのラバル大学の立場に重点を置いています。活気に満ち開放的なケベックシティに位置することもラバル大学の魅力のひとつといえます。

研究開発プラン2015-2020は、研究開発という点でラバル大学の Horizon2017 アクションプランと緊密に結びついています。特に、本プランでは Horizon2017 に取上げられている9つの目標のうち、次の4つの目標の実現を念頭に置いています：

- > 教育と研究の国際化および国際協カプロジェクトの実現を推進する
- > 研究開発の効果的発展を推進する
- > 大学組織の発展のため、教員の採用を増やし教授会の結束力を高める
- > 学会会員としての責務と貢献を評価し、ラバル大学の名声を高める

上記の目標を達成するためのアクションプランは、研究に関わる限りすべて本書に具体的に網羅されています。

複数の活動分野で世界をリードするラバル大学の教授陣の専門知識と影響力、そして予測不能な科学的進歩を可能にする新分野の開拓力によってこれらのアクションプランは成り立ちます。同様に、長年に渡り地域社会や世界のパートナーと共同研究を行ってきた教授会の力に依存しています。

教授陣の優れた革新能力、未来を描き続ける大学院生と博士研究員の創造力、また、日々プロジェクトの実現に寄与する研究者のスキルも重要な柱です。プランにはさらに一般市民の関心事も取り入れられています。一般市民の取組みが広がるにつれ、教授陣の方針および実践もより充実したものとなるためです。

プランは、2014年度に大学共同体および関連センターで実施した大規模な調査結果から作られています。ラバル大学の科学コミュニティは、アクションアイテム（取組み事項）の実施に向け一丸となって取り組みます。

プランは、本大学の公共または民間のあらゆるパートナーおよびラバル大学所属のすべてのメンバーを対象としています。また、本書はケベック研究基金（Fonds de recherche québécois）およびカナダ連邦研究委員会（Conseils de recherche fédéraux）が設立した研究助成制度の重要な参考資料の一部となります。これらの研究助成制度に申請する場合には、開発プランで定義されているとおり研究活動と該当機関の優先事項が合致していることを証明しなければなりません。

本プランは、学部の開発プランの上に成り立っています。学部は、グローバルな科学の動向と地元のニーズに応じ、現在の研究と新興分野の研究をつなぐ基準点として機能します。学部は、世界レベルの協業ネットワークで活躍する教授陣とともにラバル大学の組織としての方針に独自の視点をもたらすだけでなく、協力一致して活動することを可能にします。教授陣と組織的なレベルの取組みを連結することにより、影響力を著しく増大することができます。

一方、研究・開発副総長事務局の使命は、基本方針を明らかにすることにより研究への組織的な展望を切り開くことです。当局は、研究費調達のを機会を促進し助成金を最大限に利用する対策を提供することによって、研究開発における指導力を発揮します。また、教育機関としての観点から教授陣の研究目標の達成のために必要な条件を揃えます。

研究・開発プラン2015-2020の特徴は、主に2つの主要な方針および7つの社会問題に関わる幅広い活動を体系的に限定しようと努力している点です。また、研究チーム間の交流、地方、国、世界における公共または民間のパートナーとの密接な協力関係に焦点を当てた戦略的なアプローチを取上げています。

プランでは、さまざまな研究機関および研究利用者の優先事項、つまり経済、社会、政治分野における課題（持続可能な開発、健康、グッドガバナンス、北部開発、文化的側面における社会の活性化など）への解決に貢献するラバル大学の重要な役割を強調しています。当大学の教授陣、学生、博士研究員の研究・開発分野に関するスキルと専門知識により、地域社会から世界へと、科学、社会、文化、経済、テクノロジー分野の開発におけるラバル大学の影響力を一層強化します。

ラバル大学概要

ラバル大学は、カナダの主要な研究大学としてトップ10内にランクインしています (Research Infosource社の調査)。

3つのカナダエクセレンスリサーチチェア (Canada Excellence Research Chair) と84のカナダリサーチチェア (Canada Research Chair) を保有し、連邦助成機関による研究費助成事業では6位にランク付けしています。

国際レベルでその実績が認められている研究チームや数々の専門分野の科学専門家が在籍し、世界中でその実績がとり挙げられています。

ラバル大学は50もの重要なプラットフォームを有し、優れた競争力を備えています。

ラバル大学は、そのコミュニティに深く根ざしており、これまで多様な契約協定を築き上げてきました。教授陣は、定期的にケベック地域のコミュニティ組織、社会事業、民間事業、特にテクノロジー関連企業との継続的なパートナーシップを築いています。また、ケベック市とケベック市近郊自治体の経済発展にも大きく貢献しています。現在の5カ年計画では、研究投資額は15億超になると見込まれており、優れた専門家や前途有望な学生にとって大きな魅力となっています。

ラバル大学は、国際的な教育機関です。留学生の数は着実に増加し続け、現在、全学生の12.5%、大学院では全学生の25%を留学生が占めています。ラバル大学の教授陣は世界中の研究者と共同研究を実施しており、発表済みの論文のうち46%はカナダ国外の機関との共同出版です。カナダ国外の大学との数々の協定と米国、欧州、アジアの同僚との共著論文は、ラバル大学の世界観を証明しているといえます。さらに、フランス、ブラジル、スイス、英国との多国籍ユニットとコンソーシアムは、ラバル大学の研究協力においてますます国際化が進んでいることを示しています。

ラバル大学は、これまで数多くの発明を開示し、商用ライセンスを保持し、研究結果を提供してきた、新時代を画する大学です。知識転移および活用の促進を目指した政府の政策に合わせ、当大学は、イノベーション連鎖に積極的に関わっています。ラバル大学は、社会的・文化的なイノベーションのすべての分野における重要な影響について認識しています。

助成機関から要請がなくても当大学の研究教授陣は共同体制で研究に取り組みます。ラバル大学は、学部枠を超えたセンターや学会の創設を通じて、豊富な知識と多様性を備えた専門家が集うハイレベルのネットワーク作りを奨励し様々な分野における有益な意見交換を活発にします。これは、大学院生や博士研究員にとっても刺激的な学習環境を提供します。近年、ラバル大学はパートナーシップリサーチチェアを設立することにより、構造化を促す独自の共同モデルを展開しています。この研究助成金は、特に、公共や民間のパートナーとの関係性をさらに深めることを目的としています。ラバル大学の70にもおよぶパートナーシップチェアは、これらを通じて有望な新分野を開拓し、効率的に質の高い労働力を生み出しています。

ラバル大学は、研究を体系化する努力を通じて変化しやすい研究環境に対処するための具体的な方法を提供します。当大学はその他の有数の大学や機関との協定を結ぶことにより、ますます国際レベルの評価を獲得しています。長年に渡り地域的な問題を取り扱うためのさまざまなリソースを集約する役割を果たしてきています。

ラバル大学の教員、研究専門員、研究助成金 (chair) 関連センターおよび協賛パートナー (2013年度)



16

学部



1350

専任教授



3億7百万\$

研究収入



150

研究志向の修士課程
博士課程
大学院レベルの学生
約4,300名



400

博士研究員



700

研究専門職



800

戦略的投資家
ラバル大学の政府または企業
の協賛



84

カナダリサーチチェア
Canada Research Chair (CRC)



68

パートナーシップリサーチチェア
(Partenarship Research Chair)



3

カナダエクセレンスリサーチチェア
(Canada Excellence Research Chairs)



39

公認研究センター



9

研究機関



4

付属研究センター

ビジョン

ケベックやカナダの地域社会と国際科学コミュニティにおける役割を十分に果たすため、将来を見据え世界に開かれた主要な研究開発機関としての立場をさらに強化するよう努力します。

人間主義的なアプローチと未来のリーダーを育成する力によって地域コミュニティの基礎としての役割を担います。

画期的で持続可能な解決の提案に移行しつつ知識の境界を拡大し続ける努力を惜しみません。

ラバル大学のビジョンは次の価値に基づいています：

好奇心

考える、新境地を開く

創造力

イノベーション、創造する、着想する

オープンマインド

協力する、分野・役割・コミュニティの障壁を打ち破る

完全性

卓越性の追求、透明性、知的厳密さ

コミットメント

持続可能な開発という観点から主要な社会問題の解決に向けて一丸となる

リーダーシップ

研究開発およびパートナーシップ発展のための新しい手法を開拓する

戦略

ビジョンを実現するための戦略は、
現在社会が直面している
複雑な課題への未来のソリューションは
卓越し安定した研究開発基盤と
異なる分野の相互協力から
生まれるという確信に基づいています。

本戦略は、次の2つの基本方針から成ります：

- 1) 大学の組織体制を越えた現在の研究能力と開発すべき将来的な方向性に該当する7つの科学および社会的な主要課題に対し、ラバル大学の科学コミュニティを結集させる
- 2) 研究開発力を構築し、影響力を高める

基本方針 1:社会的な課題に対し一丸となって取り組む

ラバル大学は、各専門分野における研究開発力に基づき、社会問題の解決に貢献したいと願っています。将来有望な新興分野を開拓することにより研究開発の急速な展開に対応します。また、専門分野を超えた教授陣の共同研究を奨励し、研究対象の学会への加盟を支援します。

研究力およびプランの中で特定する新興分野は、現在当大学で実施されている数千におよぶプロジェクトの分析結果によるものです。この分析は、主要な科学的・社会的課題に対し焦点を絞り、7つの分野の研究活動を総括したものを土台にしています。すでに、1番目と6番目の課題に関しては発展し続ける構造化フレームワークにおいてラバル大学の教授陣とその研究チーム、提携団体が一丸となり、研究活動に取り組んでいます。一方、研究開発副総長事務局（VICE-RECTORAT À LA RECHERCHE ET À LA CRÉATION）は、その他の5つの課題に関して戦略的に優先事項を精緻化し、共有する課題に対しパートナーを招集するフォーラムを運営します。このような組織化にあたり、本プランは骨子として大いに役立ちます。

ラバル大学の研究チームの発見は、次の内容に貢献します：

- 1.1. 健康および快適な暮らしが持続可能である社会をつくる
- 1.2. 環境における人間の発達過程を明らかにする
- 1.3. 社会、文化、芸術を理解する
- 1.4. インテリジェントコミュニティを作り、そのテクノロジーおよびロジスティックを考案する
- 1.5. 責任ある態度で天然資源を管理し、その価値を高める
- 1.6. 持続可能性を強化しながら、ケベック北部の開発を進める
- 1.7. 倫理、健全なガバナンス、社会的な組織に積極的に参加する

**基本方針 2:
研究開発力を構築し、影響力を高める**

ラバル大学は、次の4つの基本方針を掲げています:

- 2.1 研究開発における卓越性を維持し強化する
- 2.2 地域的、国家的、国際的なパートナーシップによる共同作業を活性化し推進する
- 2.3 教育を通じて研究を奨励し、学生や博士研究員の研究成果を助成する
- 2.4 イノベーションの奨励および推進